

日時 20xx年 x月 x日 (x) 午後3時~4時

クラス △△

担当教員 ▲▲

使用テキスト なし

目標： 日本人とナチュラルな会話ができる (失礼な言い方をしない/返事が聞ける) ・日本の生活を想像する

文型： なし。

教具： 黒板、ロールカード

凡例： T (教師)、S (学生)、S1, 2, 3,, (個別の学生) BB (黒板・Brack Board)

時間 (累計)	流れ	教師と学習者のやり取り	教具	備考
5分	ウォームアップ	T「今から会話の授業ですね。 教科書などいりませんから片付けてください。」 T「今日の午前は何をしましたか？ 昨日の晩は何をしましたか？」など雑談		
15分 (20分)	活動①	T「今日は日本での生活を想像してやってみます。」 S「はい」 T (ロールカードを配る) 「読んでください」 T「まず、①の活動をやりましょう。」  *ロールカード①の活動内容* ①今日のばんごはんを決めて、買い物リスト (日本語) を作りましょう。 ここは日本ですから、日本で買えそうなものを選んでください。  T (買い物リストができたら誤字など確認) T「はい、できましたね。~~を作るんですね、いいですね~」 T「じゃあ、作るものが決まりましたね、次はどうしますか？」 S「買います」 T「どうやって買いますか？」	ロールカード① (プリントアウトして配布)  買い物リスト (黒板やプリントに書かせる)	活動中、学生同士の会話はベトナム語でも構いません。  買い物リストは日本語で書かせてください。

		<p>S「市場・スーパーに行きます」 T「（日本ではあまり市場がありません）じゃあスーパーに行きましょう」</p>		
15分 (35分)	活動②	<p>T「次は②の活動ですね。」</p> <p>*②の活動内容*</p> <p>②買いに行きましょう。どこに行きますか？（買いたいものの）場所がわからない時、どうしますか？</p> <p>T「スーパーに着いたことにしましょう。」 T「じゃあ、買い物リストの通りに買い物をしましょう。」 「日本のスーパーでどこに何が置いてあるかわかりますか？」</p> <p>T（黒板に大きく四角を描く。だいたいどこに何が置いてあるか想像させる。答えは下の図。）</p> <p>T「じゃあ、買い物しました。売り場がわからない時はどうしますか？」 S「店員に聞きます」 T「そうですね、なんと聞いて聞きますか？考えましょう。」</p> <p>T「それから、店員さんはどんな答え方をするのでしょうか？これも考えてみてください。」</p> <p>（先生も入って）ペアを2つ作って店員とのやりとりを練習。</p> <p>例) 客「すみません、～はどこにありますか？/~はどこですか？」 店員「えっと、～はそこの、右側の列の棚にあります。」 客「そうですか、わかりました。ありがとうございます」</p> <p>この時、 ①例のようにスムーズに行く場合 ②店員が教えてくれた場所に置いてなかった/見つけられなかった場合 ③売り切れだった場合 など幾つかパターンを考えてもらう。</p>		
10分 (45分)	活動③	<p>T「はい、よくできましたね。最後に店を出る前に何をしますか」 S「お金を払います」 T「そうですね、レジで会計をしますね。」 「会計のやり方はベトナムとだいたい同じですね。」</p>		語彙「レジ・会計」知らなかったら教えてください。

		<p>*③の活動内容*</p> <p>③会計の仕方はどうですか？日本のお金ってどんなものでしょう？</p> <p>T「日本ではレジ袋が有料です。欲しい時、レジで言うか、カードを見せなければなりません。気をつけてください。（下に写真載せてます・よかったら見せてあげてください）」</p> <p>T「日本のお金はどんな種類がありますか？」  S「百円、千円・・・」（学生が言ったものを黒板に書く）  T「そうですね。ちなみに～～ドンは約何円ですか？」  S「・・・」  T「そうですね。日本ではだいたい～～は・・・円くらいです。（買い物リストにある食材の値段を教えてあげられたらお願いします）」</p> <p>T「他に、レジでどんなことを聞かれると思いますか。」  S「・・・」  T「カードがありますか、とかよく聞かれますね。便利でお得ですから、近所のスーパーのポイントカードを登録するといいですね、」等々</p>		語彙「レジ袋」
5分 (50分)	まとめ	<p>T「日本での買い物の仕方がわかりましたね、質問などありますか。」  T（買い物リストの中に日本で売っていなさそうなものがあれば言ってあげてください。調味料などであればベトナムから持っていくのもいいと思います、これは日本にあるこれで代用できます、などアドバイスもあれば。）</p>		
10分 (60分)	ゲーム	<p>名前当てゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別途 PPT を送ります。</li> <li>一人だけ写真を見ないで、他の学生は写真を見て、その答えである言葉を使わないで、それを説明します。</li> </ul> <p>・例) コーヒーの写真</p> <p>S1「飲み物です。甘いのも、苦いのも・・・」  S2「色は黒いです」  S1「毎日飲みます。安いです。」  S3(回答者)「コーヒー？」  &lt;正解！&gt;  みたいな流れです。</p>		

<p>30分 (90分)</p>	<p>ロールプレイ② 導入・活動</p>	<p>お題は6つあります。休憩がてらやって見てください。</p> <p>T「次は、2つ目のロールプレイをやります。」  T「今まで皆さんは病気や怪我などしたことがありますか？」  S「はい」  T「どんな病気をしたことがありますか？どんな症状でしたか？どんな怪我でしたか？」  S「・・・です、～～です・・・」  T（症状や病名を黒板に書く）  T「それらは、何が原因だったんですか？どうして怪我をしたんですか」  S「・・・」  T（黒板に書く）  T「はい、いろいろありますね。日本で同じような病気になったらどうしますか？」  S「病院に行きます」  T「そうですね、じゃあ次のカードを見てください」  T（ロールカード②を配布する）</p> <p>1) ペアに分かれて、その中で医者役と患者役に分ける。  2)  患者役は、今までかかった病気や症状、怪我を思い出して医者に説明できるようにする。（わからない語彙があれば先生に聞く）  医者役は病気であれば原因がなんなのか探るような質問をする。（朝は何を食べたんですか？いつから調子が悪いんですか？など）  怪我であれば怪我をした状況を聞き出す。</p>	<p>ロールカード②</p>	<p>学生のでわからない単語があれば教えてあげてください。（病名・症状・痛みや状態の形容詞など）</p>
----------------------	--------------------------	--	----------------	--